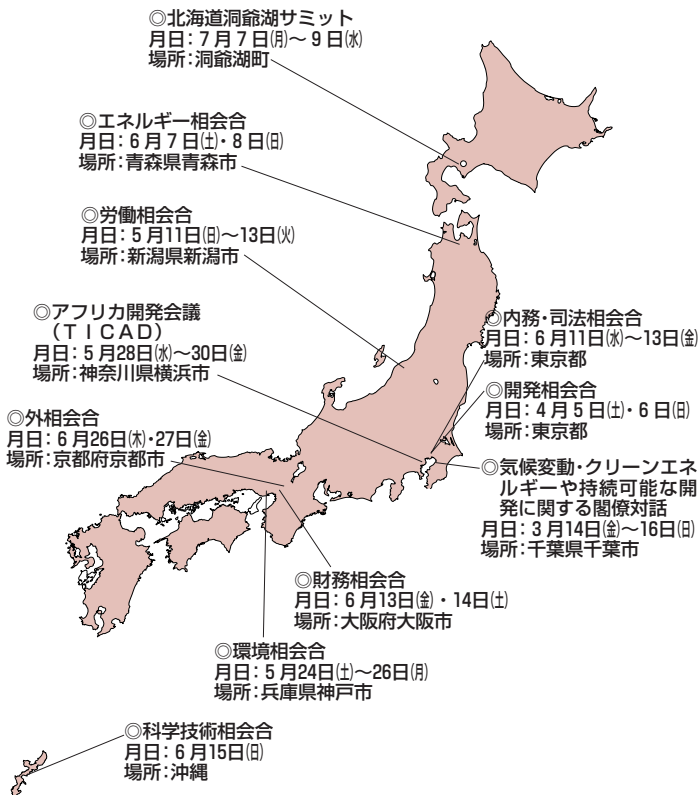


北海道洞爺湖サミットのほかに、次の関連
会合が各地で開催されます



議長国を務め、毎年首脳が集まって
会議を開くことになりました。

その後、世界経済の諸問題と並んで、冷戦を背景とした東西問題や冷戦崩壊後の国際問題、南北問題、その時々の世界情勢などの政治問題が議論の対象とされるようになり、さらには環境やエイズなどの感染症、麻薬、テロなどの地球規模の社会問題についても議論されるようになっていきます。

このようにして、主要国の首脳が議論する場であるサミットの重要性はますます高まっています。

また、1976年からはカナダ、1977年からは欧州共同体（E C）（現在は欧州連合）、1998年からはロシアが参加するようになりました。

**サミットはどのよう
に進められるのですか**

サミットでは、経済・社会問題を中心に国際社会が直面するさまざまな課題について、首脳は一つのテーブルを囲みながら、意見交換を通じて合意形成し、物事を決定します。そして、その成果が宣言としてまとめられます。

サミットには、ほかの国際的なフォーラムとは異なり事務局がありません。それぞれの国で総合的・横断的にさまざまな分野を統括する立場にある首脳が直接物事を判断するた

め、適切な決断と措置を迅速に行うことが可能になります。

**日本は議長国ですが
どんな役割があるのですか**

サミットを開催する国が、開催する年の1月～12月の1年間、サミット議長国となります。

議長国は、サミット開催に向けた事前の会議や、実際の首脳会議、外相会議、財相会議などの開催のための諸準備や議事進行を行います。そのほか、その時々国際情勢から、必要に応じて緊急会合の呼び掛けを行うこともあります。

今回のサミットのテーマは

日本は、環境・気候変動問題やアフリカ支援、核不拡散をはじめとする政治問題、世界経済の持続的成長、投資、貿易、知的財産権保護などを含む世界経済にかかわる諸問題などを提示する予定です。

**日本では過去に
どこで開催されたの**

これまで、日本では1979年と1986年、1993年に東京で、2000年に沖縄で首脳会議が開催されています。

そして、今年7月に日本で5回目のサミットが洞爺湖町の『ザ・ウィンザーホテル洞爺』で、また関連会合が全国各地で開催されます。